

Xian Leng Trading SDN. BHD 便

アジアアロワナ入荷!!

マレーシア (Batu Pahat) よりハントン氏作出の
エリート個体が勢揃い

Xian Leng

ファーム風景



果てしなく続く池...



一池に約 50 尾もの
アジアアロワナが!



アロワナの日焼け防止に
ブラックシートも

このニュースリリースは弊社の生体取引先様に向けて発信しております。一般のお客様からこの件に関する弊社へのお問い合わせはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。お買い求め、お問い合わせはお近くの販売店様にお願いいたします。

アジアアロワナ 品種のご紹介

レッドアロワナ（紅龍）

インドネシア、ボルネオ島にのみ生息。その名の通り、成魚では全身に赤味を帯びる種類。近年では、インドネシア、シンガポール、マレーシアで盛んに養殖されている。形もバリエーションに富んでおり、非常に飼い応えのある種類。

マレーシアゴールデンアロワナ（過背金龍）

名前の通り、マレーシアにのみ生息。全身が金色に染まる（金が巻く）美しい種類。藍底と言われる青味がかかった種類もあり、アジアアロワナの中では高額な種類。飼い込んだ美しさには計り知れないものがある。近年では、インドネシア、シンガポール、マレーシアで盛んに養殖されている。

インドネシアゴールデンアロワナ（紅尾金龍）

インドネシア、スマトラ島にのみ生息。マレーシアゴールデンのように鱗が金色になるタイプで、側面から見た場合に2/3くらいまで金色になり、尾ビレの半分が赤味を持つのが特徴。人気種で、最も飼育されている種類。近年では、東南アジア各地で養殖されている。

グリーンアロワナ（青龍）

東南アジア各地に生息。鱗の内側（鱗底）が緑色になるのが特徴。最もメジャーな種類。価格もアジアアロワナの中では最もお手頃で、アジアアロワナの入門種。

グリーンアロワナ プラチナタイプ

グリーンアロワナの変異個体。体全体が白味を帯び、グリーンアロワナとは一味違った美しさを持つ。

※このような個体も稀に入荷する事あり。

古代魚の王様！アジアアロワナ (Scleropages formosus)

太古の昔、大陸は一つだった。

大陸の移動と共に東南アジアの各地にちりばめられたアジアアロワナはそれぞれが生息する風土に育まれ、長い年月と共に美しき色彩に変化を遂げていった。

迫力のあるフォルムに美しき色彩。

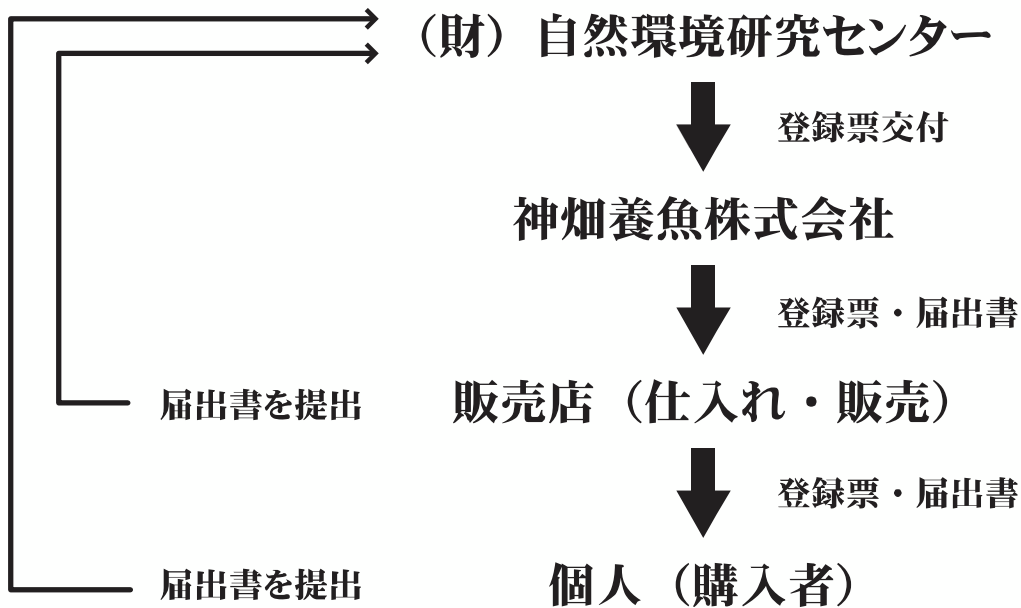
それ故に乱獲が進み、ついには絶滅の危機へと追い込まれてしまった。

その為、国際希少野生動植物種に指定され、ワシントン条約 (CITES) により保護される種類となった。

そして現在、アジアアロワナの養殖技術が進み、野生個体から2代目以降、マイクロチップの挿入個体に限り輸出が認められ、一般からマニアのユーザーまで幅広く飼育される観賞魚となった。

◆ アジアアロワナの販売、飼育、譲渡には届出が必要です

アジアアロワナは、国際希少野生動植物種に指定されているため、譲り受けた者は、30日以内に自然環境研究センターへ届出書を提出することが義務づけられています。



弊社にてアジアアロワナをお買い上げいただいた販売店様には、登録票と共に詳細資料を添付させていただきます。ご確認後、必ず自然環境研究センターへの届け出をお願いいたします。